

玉名の遺跡分布

埋蔵文化財包蔵地とは？

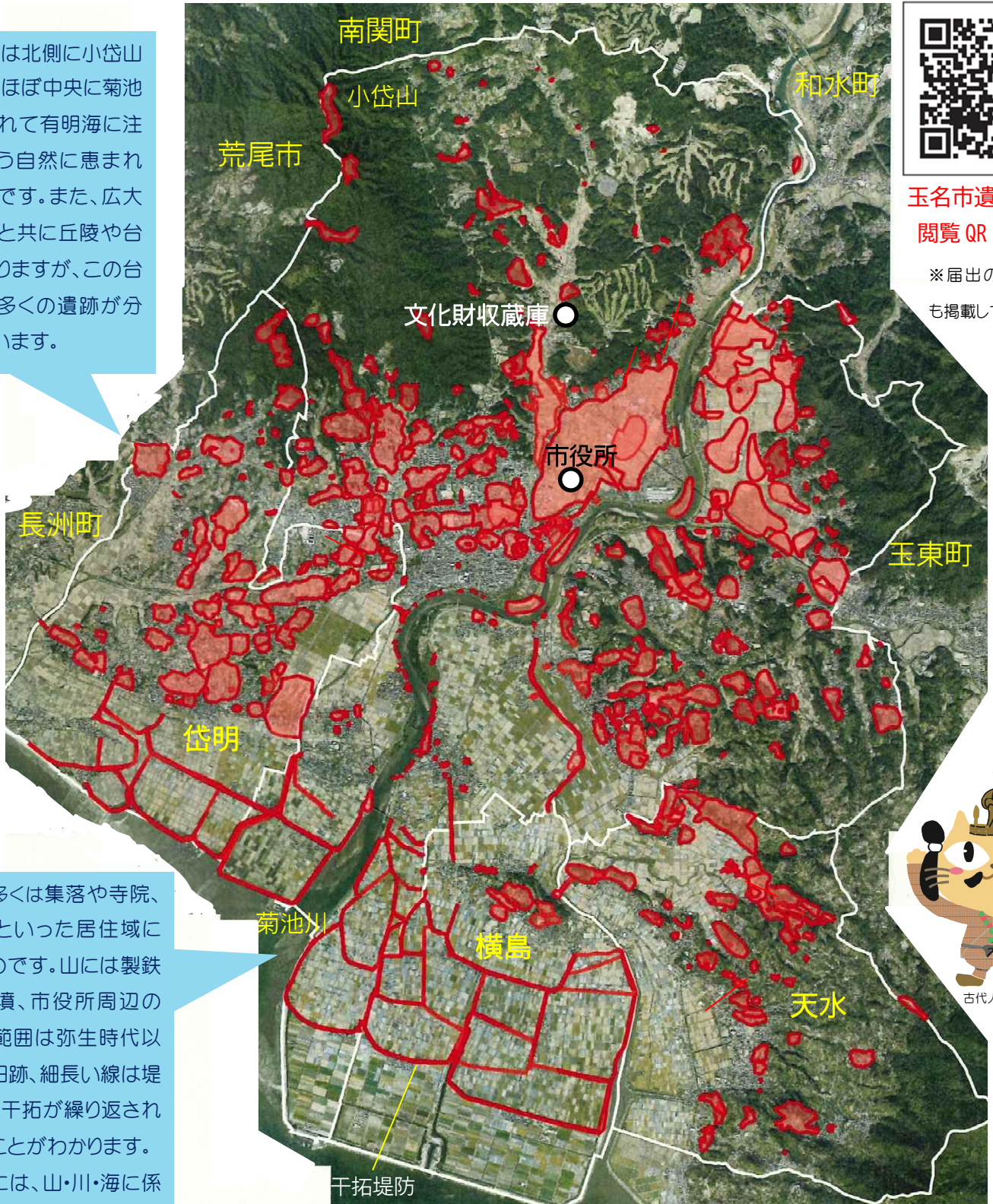
【お問合せ先】
玉名市教育委員会
文化課文化財係
TEL:0968-75-1136
bunka@city.tamana.lg.jp

「玉名の遺跡シリーズ」は30号まで発行し、これまで数々の遺跡を紹介してきましたが、ここで改めて玉名市全体にどれくらいの遺跡が分布しているのか、そもそも遺跡とは何なのか？を振り返ってみます。市内には旧石器時代から現代に至るまで、約900か所に及ぶ遺跡が確認されており、下図の赤い部分はその分布を示した図です。これらは、「周知の埋蔵文化財包蔵地」として扱われますが、遺跡は地下に埋もれているため、その多くは目に見えないのが現状です。あくまで推定範囲ですので、工事の際に必ず発掘をするわけではありません。この遺跡地図は市のホームページでも公開しており、いつでも閲覧できます。

玉名市は北側に小岱山があり、ほぼ中央に菊池川が流れて有明海に注ぐという自然に恵まれた土地です。また、広大な平野と共に丘陵や台地がありますが、この台地上に多くの遺跡が分布しています。



玉名市遺跡地図
閲覧 QR コード
※届出の方法なども掲載しています。



玉名の歴史や
わたがたの場所！

玉名は遺跡が
まじまじ！



遺跡の多くは集落や寺院、城館跡といった居住域に係るものです。山には製鉄跡や古墳、市役所周辺の広大な範囲は弥生時代以降の水田跡、細長い線は堤防跡で、干拓が繰り返されていたことがわかります。
玉名には、山・川・海に係る遺跡、里や平野に係る遺跡があるのが特徴です。

玉名市の遺跡分布図

遺跡 (埋蔵文化財包蔵地)

埋蔵文化財とは？

～地下に埋もれた、人々の生活の痕跡～

埋蔵文化財

有形文化財の中に含まれ、そのうち土地の地下に埋もれている文化財のこと。基本的に表には見えないもの。

遺跡 (遺構)

過去に人々が生活していた場所で、その痕跡が残っている範囲。地面に残された建物跡などは「遺構」と呼ばれます。

遺物

過去に人々が生活していた物的証拠となる道具など。

貝塚

住居跡

水田跡

官衙跡

寺院跡

城館跡

古墳

堤防跡

製鉄跡

石造物

※玉名は石造物が多く、地上に見えているものも含んでいます。

加工遺物

土器

石器

金属器

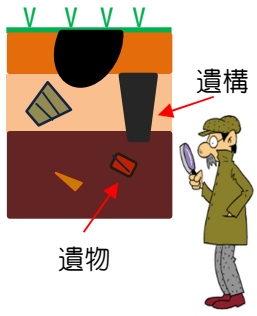
自然遺物

貝殻

獣骨

など…

遺跡の模式図



遺構



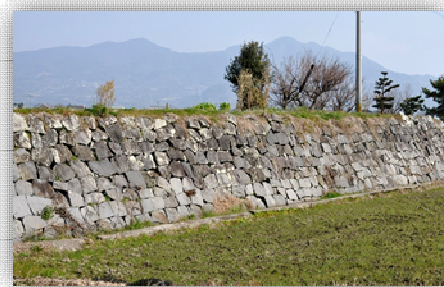
住居跡



古墳



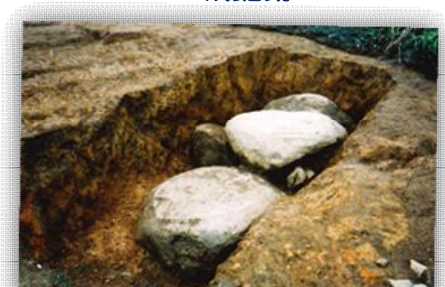
城館跡



干拓堤防跡



水田跡



寺院跡

遺物



土器

石器

瓦

木製品

貝製品

金属器

装飾品

遺跡内で工事の計画があれば、事前に文化財保護法に基づく手続きを行います。そして工事の内容が遺跡に影響があると想定される場合は、まず試掘を行い、遺跡が残存しているかを確認します。遺跡が残存し、その深さまで工事で掘削される場合に限り、発掘調査を行います。